

# 家庭菜園相談室

今月の  
テーマ

## サラダにぴったりの彩り野菜 「ラディッシュ」を栽培してみよう

別名「二十日大根」とも呼ばれるラディッシュは、発芽率もよく、種を播いてから1ヵ月程度で収穫することができます。ラディッシュはサラダ以外にも、漬物や焼き物、煮物としても調理できるなど、便利で栄養満点の野菜です。

図1 作型目安

ラディッシュ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
春まき	▲	▲	■ ■ ■ ■ ■					
秋まき					▲	▲	■ ■ ■ ■ ■	

▲ 播種 ■ 収穫



### 栽培のポイント

- ・プランター栽培にも最適。
- ・丸く太らせるためには、間引きを適期に行うことがコツです。
- ・寒冷紗で覆うトンネル栽培をすると害虫を予防できます（夏は温度を下げる効果も）。
- ・1～2週間ごとに1回種まきをして、少しずつ何回も収穫できるようにするとよいでしょう。
- ・採り遅れると根に「す」が入ってしまうことがあります。
- ・土が湿り過ぎのところでは、鮮やかな紅色と良い色つやが出にくいことがあります。
- ・地表だけでも川砂を加えるとよい品質のものができます。

**品 種**：従来は赤丸型が中心でしたが、近年は形や色の異なる数多くの品種が登場してきました。赤丸型にコメット（タキイ）、レッドチャイム（サカタ）、白丸型にホワイトチェリッシュ（サカタ）、白長型にアイシクル（タキイ）、雪小町（サカタ）、赤長種にロングスカーレット（タキイ）、紅白紡錘型の紅白（サカタ）があります。混植して彩を楽しむこともできます。

※（ ）は種苗会社名

**種 ま き**：プランター栽培の場合では、JAの元肥入り「花と野菜の有機培養土」がおすすめです。

長型のプランターなら2列播きに、板切れで深さ1㍍くらいの溝をつけます。

種の間隔を1～2㍍くらいに播き付け、1㍍の厚さに覆土をして、静かにたっぷり水をかけます。

**畑の場合**：種を播く2～3週間前に完熟堆肥2kg/m<sup>2</sup>、苦土石灰100g/m<sup>2</sup>を施してよく耕します。

種まきの1週間前には化成肥料（畑作名人）100g/m<sup>2</sup>を施します。

**播種密度**：畝幅60㍍、畝高10～20㍍、2条または3条のすじ播きにします。

または、ベッド播きでは、板切れで深さ1㍍、幅15㍍間隔で横溝をつけ種を播きます。

**間 引 き**：3～4日ほどで発芽するので、生育の良い株を残して3～4㍍に1株になるように、他の株は間引きます。2回目の間引きは本葉3枚のときに、3回目は根が1.5～2㍍に肥大したころ株間を9～10㍍に間引きます。

**追 肥**：2回目、3回目の間引きをした後、追肥、中耕をします。畝間に化成肥料（畑作名人）40g/m<sup>2</sup>をまいて土と混ぜ追肥を施し、根元に軽く土寄せして倒れないようにします。

**収 穫**：種まき後、1ヶ月前後（春播きは50日前後）で地表にせり上がってきます。根元の直径が2～3㍍になったら収穫適期です。葉の付け根を持って収穫しましょう。根が肥大したのから順次収穫します。

**病 害 虫**：根を食害するネキリムシ、若い葉につきやすいアブラムシ、葉を食害するアオムシ、ヨトウムシなどが発生します。見つけ次第指で潰したり、ひどいようなら薬剤散布も考えましょう。

家庭菜園に関する相談は、TAC（タック）、支店営農経済担当者までご連絡ください。